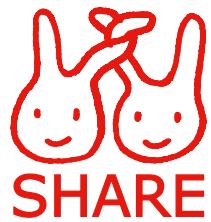


守りたいのは、いのち **NGO SHARE Free Paper** [シェアライフ]

# SHARE LIFE



Vol.

**12**

Let's feel!

「笑顔」と「優しさ」の国 東ティモール

東ティモールと言われて何を思い浮かべますか。

今号では私たちにもなじみやすい魅力を通じて、意外に身近な東ティモールの姿をご紹介します。

SHARE LIFE contents シェーちゃん&アーちゃんのちょこっと豆知識 / 私のSHARE LIFE / take action! ~シェアではじまる、あなたの社会貢献~/ みんなのVoice便 / シェアとは



シェアは、世界中の人々がもっと健康な生活をおくれる社会を目指して、アジアで活動する保健医療専門のNGOです。



# みんなのVoice便 レポート

シェアを支える皆さまからのひとことコーナー  
今回は、シェアの火曜ボランティアの方々からの声をお届けします。

シェア東京事務局では、毎週火曜日の13:30~15:30はボランティアタイムになっています。使用済みの切手整理、イベントの準備など多岐に渡るお手伝いをお願いしています。ぜひご参加ください。

Q.火曜ボランティアへ参加されるようになったきっかけは?

- ☑ シェアに以前より興味を持っており、仕事を退職後、グローバルフェスタで火曜ボランティアの募集を知ったのがきっかけで、参加しました。
- ☑ 火曜ボランティアに来ている友達と10年以上前からの知り合いで、紹介されて火曜ボランティアへ参加しました。
- ☑ 会社を退職後、時間が出来たのでボランティアを探していたところ、シェアのボランティア募集を見つけたので、それで応募したのがきっかけです。
- ☑ NHKのラジオの深夜便で、シェア代表の本田さんがシェアの活動を紹介していて、興味をもったのがきっかけです。



Q.シェアの魅力は何だと思いますか?

- ☑ 人を大切にしていること、人のキモチを大切にしていることが魅力だと思います。ボランティアで集まったときに非常にキモチが良いです。あとは、何といっても本田さん(シェア代表)が魅力!
- ☑ 良い方が大勢いること。清々しい心で奉仕活動に積極的な方々に出会えて、とても嬉しく思っています。自分の知らない様々な事柄を知ったり、人と出会えることは非常に楽しいです。
- ☑ ブライマリ・ヘルス・ケアのアプローチがとても上手な組織だと思います。また、シェアスタッフの解決能力の高さに刺激をいつも受けています。火曜ボランティアに参加されるさんは、様々なバックボーンを持った方々が多いので新たに色々と知ることが出来て、勉強の場にもなっています。
- ☑ ボランティアに対するケアが良いと思います。また最近は若い人たちと話す機会が減っているので、若い人たちとのコミュニケーションをとれる貴重な場所ともなっています。

火曜ボランティアの方の中で、シェアが開催した東ティモールスタディツアーハ行かれた方がいました。感想を聞いてみましょう!

Q.なぜ東ティモールを選んだのですか?

- ☑ 行ったことのない国、新しい国、いろいろと理由はありますが、やはり好奇心でしょうか、ツアーへ参加しました。
- Q.学校・保健所はどうでしたか?
- ☑ 学校での交流、保健所などの見学でも、シェアが信頼されているのを感じました。十余年の実績なのでしょうね。私なりにお手伝いをさせていただきたいと思っています。

Q.東ティモールスタディツアーハの感想を聞かせてください!

- ☑ 収穫は、かわいい子どもたちに会えたこと、砂ぼこりの道を走ったこと、おいしい食べ物、きれいな海、現地の人達が頑張っていることを感じたこと、いい人たちと一緒にできたこと、疲れ知らずでツアーを過ごせたことです。



## シェアとは

シェアは、保健・医療を中心とした国際協力活動を行っている民間団体(NGO)です。1983年に設立され、現在はカンボジア・東ティモールに看護師などのスタッフを派遣し、地域の人々と協力して健康を守る活動を進めています。国内では、外国人のための出張健康相談会や医療電話相談などにも取り組んでいます。医療関係者だけでなく、学生・主婦・会社員など多くの方々が参加しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



### 母子保健 母と子の健康を守る

予防可能な病気で亡くなる子ども達。妊娠・出産が原因で命を落とす母親。そんな命を守るために、村人や医療者へのトレーニングを行います。



### 医療アクセス いのちの平等を目指す

医療機関にかかることが困難な在日外国人、病院が近くにない途上国の人々。すべての人が医療サービスを受けられるように取り組んでいます。



### 保健教育 もっと知る・もっと考える

自分たちの健康について知識を持ち、考え、行動するために、住民参加型の保健教育活動を行っています。



### HIV/AIDS エイズに立ち向かう

差別と偏見のない社会、感染の有無に関わらず互いに協力して暮らしていく社会を目指して、普及啓発を中心とした活動を行っています。

## Health for All!

すべての人に健康を!



日本



カンボジア



東ティモール



▼check!  
share.or.jp



## 編集後記



シェアの広報担当となり、初めてのシェアライフ制作になりました。有志のボランティアの方々に沢山のご協力を頂き感謝しています。一人でも多くの方に、シェアライフを手にとって読んで頂けたら嬉しいです。(J)

## 編集メンバー



わら



jin



岡さん



西芝



juk



伊藤



きのこ



yua



〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル5F  
TEL 03-5807-7581 FAX 03-3837-2151  
E-mail info@share.or.jp URL http://share.or.jp/  
facebook share.or.jp Twitter @NGO\_SHARE

SHARE LIFE volume 012 2016年9月発行  
発行人 本田 徹  
編集 SHARE LIFE 編集委員会  
発行所 (認定)特定非営利活動法人  
シェア=国際保健協力市民の会(SHARE)  
印刷 ベーテルフォト印刷株式会社

\*シェアではSHARE LIFEを設置していただける施設・店舗を募集しております。お問い合わせは、メール、お電話にてご連絡よろしくお願いいたします。

\*SHARE LIFEの編集ボランティアを募集しています。デザインが得意な方、ライター・編集経験がある方、カフェや店舗など配布先開拓が得意な方etc.お待ちしています。ご連絡はinfo@share.or.jpまで。

